

みんなの法話 宝の山

人生は邂逅と謝念である
鎌田 宗雲師
中央仏教学院講師

結論は仏法聴聞

私は、滋賀県にある田舎のお寺に入寺してから、ふと気付いたことがあります。御門徒に出会って話をすると、必ずと言っていいほど「おかげさまで」が話のはじめについていることです。

何百年もお念仏の道場を護り大切に下さった方々の願いが、現代の今を生きる人の中で具現しているかのよう。ご門徒とのお話の中で「おかげさま」が聞こえたら「先祖代々、お念仏のご縁があつて良かったね」と心の中でつぶやいています。

時代の変遷の中で、富める時代も貧しい時代も、お念仏という宝がいつも生活の中心にあつたから、「おかげさま、ありがとう」という感謝の心が命のつながりとして、代々綿々と継承されてきているのだと実感しています。若い頃に聞いて感動した井勝一郎先生の「人生は邂逅と謝念である」という言葉と、

『往生要集』の「頭に霜雪を戴きて、心は俗塵に染めり。一生は尽きぬといへども、希望は尽きず。願はくはもろもろの行者すみやかに要の道に随うべし。宝の山に

いりて手を空しくして帰ることなかれ」の言葉は、私にとつて忘れられないものです。この言葉がつくづくわが身にしみてきている昨今です。とここで、「宝の山」とは何

なものでしょうか。結論を言えば仏法の聴聞のことです。宝の山に入りて空しくして帰る人は、仏様の教えを聞くご縁のない人のことです。こんな人生を過ごさずに心豊かに生きていきましよう、およそ千年前にお念仏をよるこんだ源信さまの声なのです。

それではどのように仏様の教えを聞けばいいのでしょうか。この私に、仏様の教えを私心・私見を交えず素直に聞くことができるのでしょうか。ここがもんだいです。

名号は私のために
浅原才市さんが、

わたしやあなたに目の玉もろてもろてもあなたみる玉なむあみだとお聖教そらんじたり教えを

講釈する人ではありません。ただ純粹無垢にアミダさまのお慈悲をよるこんでいた好々爺でした。仏さまはあるがまみれる眼を私たちがあたえて下さる方だと体解していたのです。だからこそ、

ええな
せかいこくうが
みなほとけ
わしもそのなか
なむあみだぶつ
わたしや
あなたにおがまれて
たすかつてくれと
おがまれて
ご恩うれしや
なむあみだぶつ

という素晴らしいお領解を披露できたといえます。才市さんの領解は、アミダさまは南無阿弥陀仏の六字の名号です。アミダさまの姿・形を求めているではありません。

お名号は誰のために完成されたのかを聞いてみれば、この私のすべてをみぬき、この私を救うためにこそ誓願をたて修行されて阿弥陀如来となられたお名号となつてアミダさまはみ名となつて、いつでもどこでも私に「かならず救うぞ」とはたらいいてくださるのです。

つまりが、ナモアミダブツと称えるまが、アミダさまに喚ばれつづけている私と願解すべきです。このことを甲斐和里子さんが、

み仏をよぶわが声は
み仏の
われを喚びます
み声なりけり

とみごとに歌っています。できればこの歌をかみしめて、いつもアミダさまと共に生きていくわが命と、よろこびにみちた生活をしていきたいのです。

また、親しい先生から聞いた話ですが、池山栄吉先生の書いた名号碑の南無阿弥陀仏と刻んである裏に「オネガヒダカラスグキテオクレヨ」の文字があるそうです。ありがたいですね。私はアミダさまを拝みたのむのではないのです。すでにアミダさまから「タスカツテオクレヨ」とたのまれているのです。このことを知ることが人生の宝をよるこぶ生活の出発なのです。

本願寺新報平成28年7月1日号掲載



古いカメラ



前任職のカメラ好きは、皆さんもご存じだと思います。

コレクションを並べると、「小さなカメラ博物館ができるかな」と思えるくらいあります。

その中で、最近使ってみたくなくて、引っぱり出してきたのが、右の写真の「ローライフレックスワイドアングル」です。箱から出してみると、まるで新品のような輝き、大切に使用わずに保管されていた逸品です。

試し撮りのために、フィルムを買いに麻布十番へ行っても、売っているお店はありませんでした。インターネットで注文して、フィルムを装填して縛りとシャッタースピードを決め、フィルムを巻き上げ、ピントを合わせてシャッターを切る。

今のデジカメだったら、スイッチを入れ、被写体にレンズを向けてシャッターを押す。

なんと手間のかかることを昔はしていたのでしょうか。また、現像に出して写真を見られるまでに、不慣れな写真屋さんで、なんと2週間もかかってしまいました。

つくづくと時代の変化を感じましたが、手間をかけて生活していた時代の「あじわい」と「愛着」が今だけだけあるだろうかと思ふようになりました。

このカメラで満足のいく写真がとれましたら、ご披露したいと思ふます。

*このカメラの使い方、いくつかわからないことがあります。ご存じの方がいらしたらご教示ください。

宗門総合振興計画 御懇志の御礼

新年号でお願いいたしました。また懇志ですが、おかげさまで目標額の御進納を賜うることができました。ささやかな御礼として、本願寺書院の天井画の意匠を用いて作られました金属製の葉を

お送りします。

これから御進納予定の方もよろしくお願いいたします。

お知らせ

伝灯奉告法要団体参拝

四月末で申し込みを締め切りしましたが、まだ若干の余裕があります。七月一六日まで受け付けますので、どうぞご検討ください。

○教誓寺維持会費について

本年度も維持会費ご納入下さり有り難うございます。皆様のご納入は順調ですが、残念ながら住所が不明になったりして、しばらく連絡が取れなくなっている方も少数ながら御座います。転居なさるときには、お寺へもご一報下さるようお願い致します。

ご納入の確認ができなかった方に、振込票を再度同封しました行き違いで納入済みの方はどうぞご容赦ください。

お寺の手違いで、重ねて請求してしまったり事などありましたら、申し訳ありませんがご遠慮なくご指摘ください。

これからご納入下さる方も、早めにお願ひ致します。

孟蘭盆会法要のご案内
お盆は13日からですが、たくさんの方に参り頂けるように、お盆前の日曜日に、教誓寺の孟蘭盆会法要をお勤め致します。

定例の孟蘭盆会法要に併せて、昨年のお盆以降から今年のお盆までにお亡くなりになった方々の(新盆)合同法要をお勤め致します。

法要の中で御法名をお読み致しますので新盆にあたられる方は、是非お参り下さい。

7月10日(日)

午後2時より

○ご一緒にお経を上げてお勤めいたしましたよう

お盆期間

7月13日(水)～

16日(土)

浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺
108-0073

東京都港区三田 一十二-十一

〇三(三四五)二三九

kyo16@jst.so-net.ne.jp